

# 平成30年度/第35回ビジネスプラン発表会の報告

## 1. 開催概要

- ① 日時 : 平成31年2月5日(火) 13:30~18:00 (開場 13:00)
- ② 場所 : ホテルグリーンタワー幕張4F「ロイヤルクレセント」
- ③ 次第 : 開会 13:30  
ビジネスプラン発表会 13:40~15:20  
ビジネスプランの発表  
(ベンチャースピリッツ賞受賞企業) 15:30~15:45  
特別講演 15:45~16:10  
表彰式・講評 16:20~16:40  
名刺交換・交流会 16:50~18:00
- ④ 参加者 : 108名 (名刺交換・交流会 : 80名)

## 2. 開催内容

- ビジネスプラン発表会 5社、各20分 (発表15分、質疑応答5分)

### 発表1 : (株)Smart119



#### 企業概要

- ・住所(本社) : 千葉県中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館7階
- ・代表取締役 : 中田 孝明
- ・設立年月日 : 平成30年5月16日
- ・事業内容 : より早く・より正しく・より効率的な救急・災害医療のためのシステム研究開発・販売・運用

テーマ : 『音声認識とAI支援による早く正しい救急医療サービス「Smart119」』

発表者 : 代表取締役 中田 孝明 氏

#### ビジネスプランの概要 :

本事業は、以下の2つの製品で構成される。

- ① 自治体向けサービス 救急医療情報システム (Smart119 救急情報システム)
- ② 個人用スマートフォンアプリ (Smart119 個人用アプリ)

#### ① 新規性・独自性

音声認識による迅速・効率的な情報入力と病院前診断予測アルゴリズム (診断スケール) による AI 救急支援という特徴をもつ、新規性・独自性、共に高いビジネスプランである。

#### ② 市場性

以下、3つの事業収益モデルは、高い市場性を有する。

- ①自治体向けシステムビジネス (市場規模 200 億円)
- ②ヘルスケアサービスビジネス (市場規模 4 兆円 市場成長率 17%)
- ③企業データビジネス (市場規模 8,000 億円 市場成長率 67%)

### ③ 成長性

「千葉県から日本全国、そして海外へ」をキーワードに、千葉県で得られる実績を礎に日本全国へ展開する成長性の高い事業プランで、病院前診断予測アルゴリズム（診断スケール）によるAI 救急支援で救急医療先進国日本から海外へも展開する。

### ④ 優位性

救急医療チーム（千葉大救急集中治療医学・千葉県・千葉市消防）と最新技術を活用できる経験豊かな ICT 技術者チームが、既製システムの課題を洗い出し、その課題を先進的なアプローチで解決するシステムを開発。千葉県内での検証実験成果を踏まえた優位性のあるサービスである。

### ⑤ その他

Smart119 は、千葉大学救急集中治療医学（講師）中田孝明が代表研究者として、日本医療研究開発機構（AMED）の救急医療研究課題「早く正しい救急医療実現のためのスマートな患者情報収集・処理・共有システムの開発」で得た研究成果を千葉大学発ベンチャーに移管・事業化するプロジェクトである。

## 発表 2 : 榊緑門



### 企業概要

- ・住所（本社）：千葉県船橋市習志野台 4-26-1-402
- ・代表取締役：下山田 力
- ・設立年月日：平成 24 年 1 月 5 日
- ・事業内容：①茶の実栽培  
（耕作放棄された茶畑を活用した茶の実栽培）  
②茶の実油の製造  
（圧搾による茶の実油製造、受製造も実施）  
③茶の実油の販売  
（化粧品や食品の原料あるいは化粧品・食品として販売）

テーマ：『自社オリジナル加工食品のシェアリングによる茶の実油の認知拡大と市場形成』

発表者：代表取締役 下山田 力 氏

### ビジネスプランの概要：

#### ○現状の課題

- ・弊社は全国の茶の実油づくりを行っている会社等とのネットワークがあるが、生産量の少なさという共通の課題のため、加工品の開発が困難となっている。
- ・各地の同業他社は、各社自身の製品を売りたいが、加工品の製品開発には資金も時間もかかる。また、それぞれが同じような製品をつくと競業になってしまう。

#### ○解決策（今回のビジネスプラン）

- ・弊社及び各地の同業他社は 1 次生産者であるため、自前のことだけを考えた製品開発、販路開拓になってしまう。
- ・そこで弊社が、デザインをはじめベースとなる製品を開発し、同業他社とシェアする。併せて弊社が各産地の製品化を請負できる体制を作り、同業他社が地元エリアで販売できるような支援も行う。  
例：埼玉県狭山茶、滋賀県朝宮茶、岐阜県春日茶、佐賀県嬉野茶等
- ・これにより各地の同業他社と連携した製品シェアによる、茶の実油の認知拡大と市場形成を図る。

## 発表3：(株)ABELON



### 企業概要

- ・住所（本社）：千葉県千葉市美浜区打瀬 3-6-3-602
- ・代表取締役社長：慎 征範
- ・設立年月日：平成 28 年 11 月 24 日
- ・事業内容：新しい同時通訳システムの企画・開発・運用・販売

テーマ：『地方の同時通訳者の雇用創出 ～ローカルからグローバルへ～』

発表者：代表取締役社長 慎 征範 氏

### ビジネスプランの概要：

現在の同時通訳システムはラジオや赤外線を使ったものが主流である。しかしお客様は、（1）コストが高い、（2）音が悪い、（3）セキュリティがない、（4）受信機の貸出回収が手間、といった不満を持っている。そこで弊社はローカルWi-Fiとスマートフォンを使って通訳者の音声を聞くことができるシステムを開発して販売し、多数の企業に導入した。

ところが近年、Wi-Fiの普及に伴ってチャンネルの空き不足に悩まされるようになった。そこでクラウドをベースとした新システムへと移行すると同時に、クラウドだから実現できる遠隔同時通訳というビジネスにチャレンジする。

#### ① 新規性：

会議などの長時間遠隔同時通訳は世界でも例はない、ストリーミングサーバーとクラウドとCDNを組み合わせ、今までにない高品質な同時通訳（遠隔同時通訳）システムとなる。

#### ② 優位性：

クラウド同時通訳システムと遠隔同時通訳の組合せは世界でも例がまだない。また弊社はすでに特許を取得している。

#### ③ 市場性と成長性：

MICEは世界的に拡大傾向であり、同時通訳とシステムの需要は増加している。しかし同時通訳者はローカルでしか仕事ができない。そこで弊社は遠隔同時通訳とすることで、グローバルにマーケットの拡大を図る。

## 発表4：(株)エコデシック



### 企業概要

- ・住所（本社）：千葉県柏市柏 6-9-18 柏パークビル
- ・代表取締役：後藤 秀樹
- ・設立年月日：平成 28 年 12 月 27 日
- ・事業内容：革新的栽培技術（Agrofactor）をベースとして
  - ・植物栽培技術と組み合わせた植物工場システムの販売
  - ・小型栽培機の販売
  - ・栽培に必要な消耗品の販売
  - ・植物工場システムの保守
  - ・栽培技術のコンサルティング

テーマ：『革新的植物栽培技術 Agrofactor を用いた植物工場による新たなサプライチェーンの構築』

発表者：代表取締役 後藤 秀樹 氏

### ビジネスプランの概要：

- ① 栽培技術と栽培システムを集積化、IT と IoT 技術を駆使して栽培の保証、市場情報の提供を栽培事業者に行い、市場に受け入れられる価格で最適な野菜生産と流通を可能とする新たなサプライチェーンを構築する革新的ビジネスモデルである。
- ② 根に物理的刺激を与えることで成長ホルモンの分泌を促進し光合成の効率を高めることで、人工光の照度を抑えながら栽培日数を短縮するという画期的な方法である。栽培日数は 25 日程度で一株あたり 150g という従来方法より 3 倍以上栽培効率が高く、露地栽培並みの栽培コストを実現している。（特願 2017-203684）
- ③ 地球温暖化や農業従事者の高齢化に伴う農業の継続性の問題などを考慮すると、栽培方法の抜本的な革新が必要である。これを解決する方法として「栽培コストの低い植物工場による野菜栽培」は大きな市場性を有している。
- ④ 農地の砂漠化や農業用水の不足から耕地での栽培から植物工場での栽培への転換が進むと考えられる。発展途上国においても人口の増大に対応できる農地の確保は困難で、植物工場での栽培は必須になっていく。以上の理由から、今後世界的に植物工場市場は拡大する。
- ⑤ 栽培事業を行う誰もが安心して栽培できるように IT、IoT 技術を用いて当社から遠隔で栽培を監視、常に栽培をサポートする体制をとる。また各植物工場および市場をネットワークで結び、最適な品種・数量、最適な市場への出荷を可能とするシステムを構築していく。
- ⑥ 重要な市場である離島や発展途上国では商用電源の確保が問題となるが、太陽光発電、風力発電などの再生可能エネルギーを用いた安定的な独立電源による植物工場の開発を進めている。

## 発表5：(株)プルーツ



### 企業概要

- ・住所（本社）：千葉県柏市柏の葉 5-4-6 東葛テクノプラザ 609
- ・代表取締役：菅野 朋典
- ・設立年月日：平成 28 年 4 月 4 日
- ・事業内容：六面体メッシュ生成の請負及び研究開発

テーマ：『六面体メッシュ自動生成とオートデザイン』

発表者：代表取締役 菅野 朋典 氏

### ビジネスプランの概要：

- ①六面体メッシュ自動生成技術(独自技術)を用いたメッシュ生成請負業務と、自動生成技術を応用したオートデザイン技術の開発／提供を行う。
- ②これまで様々な六面体メッシュの自動生成手法が提案されてきたが、複雑な解析モデルに対し、高い品質の六面体メッシュを生成することは不可能であった。また、弊社のヒアリング調査によると、六面体自動生成技術は未だ結実していない問題であるとのことである。
- ③弊社では複雑系物理を応用した新規性の高い技術手法を用いることにより、高品質なメッシュを生成可能な技術を開発した。
- ④六面体メッシュが特に重要な建設業界に広く需要がある他、これから高層建築が盛んに行われるであろうアジア諸国にも大きな商機が期待できる。また、六面体メッシュの自動生成技術による時間コストの削減率は圧倒的であるため、国内での需要も十分に期待できる。
- ⑤独自技術の応用として、オートデザインという新しい分野の開拓を2～3年以内に行う。

## ●ビジネスプランの発表（ベンチャースピリッツ賞受賞企業）

### (株)モノテクノス



#### 企業概要

- ・住所（本社）：千葉市美浜区中瀬 2-6-1WBG マリブウエスト 2 階
- ・代表取締役：西尾 卓哉
- ・設立年月日：平成 29 年 4 月 5 日
- ・事業内容：1. RaspberryPi などの汎用マイコン向けの基板作成、設計  
2. 製造業、FA 事業者向け IoT システム受託開発  
3. Python をメインとしたプログラム受託開発  
4. 発達障害学生向けプログラミング教室

発表テーマ：『発達障害のお子様向け就職までサポート付きプログラミング教室』

発表者：代表取締役 西尾 卓哉 氏

#### ビジネスプランの概要：

- ・発達障害や軽度知的障害を持つ子供達へ IT 技術者として必要な教育を行い、身に付けたスキルを武器に IT 技術を活かせる企業への就職意識を高めていく。
- ・軽度の障害を持つ子供向けのプログラミング教室の実態は、他社では、遊びに近い楽しさを求めたプログラミング教室がほとんどであるが、当社は実用的な内容になっている。
- ・また、障害者就労移行支援事業では、基礎的な就職訓練を行っており、パソコンの使い方等を教えるレベルで、障害を持つ子供が技術者のような手に職をつけることまでは出来ていない。
- ・一方、当社はプログラミング教室と名付けているが、障害を持つ子供達の就業を意識した訓練施設（就職塾）の機能を持たせている。
- ・また、当社はハードとソフトの両方がわかる技術者の教育と実際の仕事と同じ環境を用意したカリキュラムとなっている。



## ●特別講演

スピーカー：(株)BBSTONE デザイン心理学研究所 代表取締役社長 日比野 好恵 氏

講演テーマ：デザイン思考からデザイン心理学思考へ

講演要旨：

“心とは氷山のようなものだ”

その1/7を水面の上に出して漂う～心の動きの大半は、水面下に沈んだ無意識の中に、顧客の意思決定や実際の行動は、無意識の心の動きに支配されている。

- 人間の行動を動かしているものは言葉にできない無意識の部分である。
- 時代は証拠＝エヴィデンスを求めている。
- 感性、見易さ、真に消費者が求めるものを、特許技術により数値化
- 製品やサービスがいくら使いやすくても、どんなメリットがあろうとも、お客様の**内臓感覚**（＝アンケートでわからない部分）に訴えなければ心は動かない。
- 内臓感覚は従来手法では解明できなかった。当社はこの言葉にならない消費者の本音を紐解く唯一の会社である。
- 千葉大学工学部で蓄積された膨大なデータベースによる仮説をもとに、他ではなしえない科学的な視点で、クライアントの問題解決を行う。

例1) 人に聞かずに使えるリモコンの開発（大手空調メーカー）

例2) 取り間違えにくい注射器ラベルの開発（大手製薬会社）

例3) 待ち時間を短く感じさせる空間コンサルティング（地方銀行）

例4) 今の自分の気持ちにフィットするリップのリコメンデーションツールの共同開発（化粧品メーカー）



●表彰式・講評

発表会終了後事業実施委員会にて審査を行い、次の通り選定し表彰した。



ベンチャークラブちば大賞 : (株)Smart119

(副賞 賞金50万円)

★★ベンチャークラブちば準大賞 : (株)エコデシック

(副賞 賞金20万円)

★優秀賞(副賞 賞金 5万円) : (株)緑門

★優秀賞(副賞 賞金 5万円) : (株)ABELON

★優秀賞(副賞 賞金 5万円) : (株)プルーツ

※ベンチャースピリッツ賞 : (株)モノテクノス

(副賞 大企業経営での経験と実績の豊富な複数のメンバーによる mentoring の実施 (無償))

※ベンチャースピリッツ賞については、2次審査において選定済み

まとめとして、(公財)千葉県産業振興センター 新事業支援部 中田常務理事から受賞企業5社の講評が行われ、最後に、受賞者等による記念撮影が行われた。

また、一般参加者25名からアンケートの回答が寄せられ、発表者に対するコメントおよび発表会の運営などに関する意見を収集した。また審査員からも多くのコメントをいただき、参加者アンケートの回答と併せて発表企業にフィードバックした。





●名刺交換会・交流会

発表会后、名刺交換・交流会を開催し、発表内容に関する追加質問、意見交換の場を持った。製品サンプル等を展示したブース（株Smart119、（株）エコデシック、（株）緑門、（株）モノテクノスの4社が出展）を中心に人の輪ができ、来場者との活発な交流が行われた。

